

## 庁舎建築工事：基礎工事が完了へ

基礎工事では、杭工事で設置した杭の上に、基礎や耐圧盤、地中梁(いずれも鉄筋コンクリート)の設置を進めてきました。

これまでに、鉄筋配筋やコンクリート打設を終え、現在は、コンクリートを流し込む際に使用した型枠の取り外し等をおこなっています。

12月中旬からは、地下部分の埋め戻しを行うとともに、1階床部分の躯体工事を実施していく予定であり、年明けからは5月中頃までの期間で、地上部分の躯体工事をおこなっていきます。



建物を支える地下の構造体(上端が地面の高さ)

## 地中熱利用システム導入工事(第1期)を開始

新庁舎で利用する地中熱システム導入のための工事を開始しました。工事は2期(地下部分・地上部分)に分けて実施し、第1期工事では、地下部分の工事として、地中に熱交換用の柔らかい管(地中熱交換器/地中熱チューブ/右写真)を設置します。

今回工事では、新庁舎西側の3カ所に設置し、昨年度に設置した1カ所と合わせ、全体で4カ所の地中熱交換器とします。

新庁舎の完成後は、新庁舎正面玄関右側に設置する「町民ロビー」の冷暖房用として、夏季はエアコン、冬季は床暖房の熱源に利用する予定です。

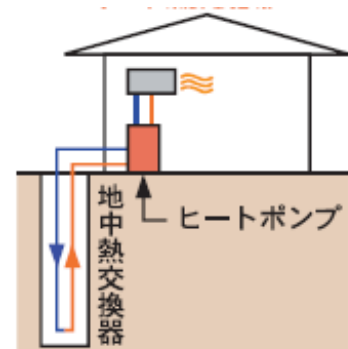
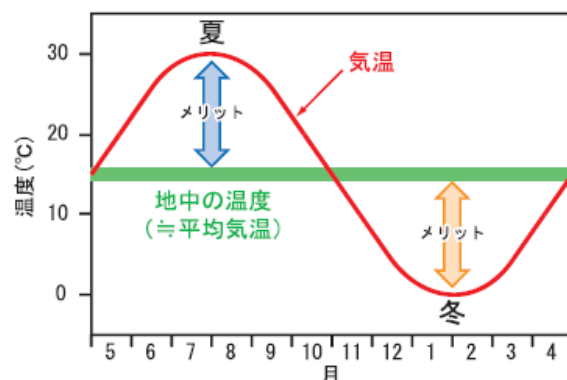


### 新庁舎コラム「地中熱利用」

地中の温度は、深さ10m以深では年間を通じて一定しているとされ、夏は外気温よりも冷たく、冬は外気温よりも温かい状態となります。地中熱利用では、地中に不凍液を循環させて、地中の熱を有効に活用します。

東京スカイツリー地区や東京オリンピック関連の複数の施設で導入されている他、県内でもJヴィレッジや南会津町役場、道の駅猪苗代等、様々な施設で空調・床暖房・融雪等に利用されています。

地中熱の利用は電気利用の節減となり、二酸化炭素排出量の低減化、電気代の節約につながるかとされており、新庁舎も環境負荷低減に取り組みます。



出典：環境省パンフレット

※図中の温度はイメージです



## 新庁舎コラム 新庁舎の空撮②

建築工事について建築事業者の(株)橋本店が実施している空撮の一部をご紹介します。



敷地南東側より(9月杭工事)



敷地東側より(9月杭工事)



敷地南東側より(11月基礎工事)



敷地東側より(11月基礎工事)



敷地北東側より(11月基礎工事)



基礎工事の様子(11月)

なお、撮影にあたっては、国土交通省より人口集中地区のドローン飛行許可・承認を受けた者が、福島北警察署への事前連絡のもと、安全性やプライバシー等に配慮して実施しております。

空撮の動画については、下記(右記)からご覧ください。

○桑折町 Youtube(空撮動画)

[https://www.youtube.com/channel/UCjPNS2rBw\\_SWUw7ft3Ym2A](https://www.youtube.com/channel/UCjPNS2rBw_SWUw7ft3Ym2A)

